

『のんびり洋書めぐり』



Ehon House

(株)岩崎書店 絵本の家事業部 仕入担当

望月真由



■ 感情の絵本って何がいいの？

仕入部では日々、海外出版社から新刊をたくさん紹介されます。その中でも近頃特に目を引くのが、感情の絵本です。海外ではfeelingsやemotionsといった単語とともに、特に就学前の子どもたちを対象とした、様々なタイプの感情絵本が次々と出版されています。

お話の主人公が「嬉しい」「悲しい」を感じ、それを読む子どもたちも同じ感情を学ぶ。絵本をはじめ、児童書をたくさん読むことで、感情豊かな子に育つ。当たり前のようにそう考えていた私にとって、「なぜわざわざ、“感情”を強調した絵本がこんなに出版されるのだろう？ストーリーからじゃ不十分なのかしら？」と疑問が湧いてきました。そこで今回は、感情絵本をとことん掘り下げてみることにしました。

■ EQということば

感情絵本を掘り下げるキーワードとして、EQということばに出会いました。IQではなく、EQ？偏差値やIQ(Intelligence Quotient: 知能指数)は生活に根付き、人の能力を測るひとつの物差しとなっていますが、EQは聞き慣れません。それが今、世界のビジネス界ではIQが高い人よりもEQが高い人のほうが成功すると言われているというのです。

EQとは、「心の知能指数」(Emotional intelligence Quotient)を意味し、「感情をうまく管理し、利用できる能力」のことで、1990年代に米国でピーター・サロベイ博士とジョン・メイヤー博士によって提唱されまし

た。価値観が多様化する現代では、これまでの偏差値やIQで測る「認知能力」重視だけでは立ちいなくなり、「非認知能力」を重視するEQという概念が生まれたといます。近年、重要なビジネススキルとして注目され、日本でも1500社以上の企業でEQの概念を導入しているそうです。

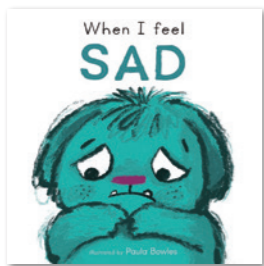
■ 感情リテラシーということば

ビジネスから教育に視点を戻します。EQで重視される「非認知能力」は、近年、就学前幼少期教育で大変注目されているといます。「非認知能力」とは目標や意欲、興味・関心をもち、粘り強く仲間と協調して取り組む力や姿勢のことを指すそうです。遺伝的特質を持つとされるIQに対し、EQは先天的な要素が少なく、幼少期教育を通じて高めることができるという研究結果があり、つまりこれからの時代に重要な能力「非認知能力」のカギは幼少期教育にある、ということのようなのです。OECD(経済協力開発機構)では「非認知能力」を「社会的情動的スキル」と呼ぶようで、身近な言葉に置き換えると、「相手の気持ちをくみ取れる」「今自分が何をすべきかを考えて行動できる」といったところでしょうか。自分や相手の気持ちを読む=気持ちの読解力をつけるという意味合いで、「感情リテラシー」ということばにも出会いました。感情リテラシーで特に大切なのは、①気持ちの名前を知ること(感情にも色々な種類があり、名前がある)②感情語を取り入れること(日常で無意識に使っている感情を表す言葉を、意味のある言葉だと意識し使用する)だそうです。この感情リテラ



シーの手立てとなるのが、感情絵本なのではないか？時代の潮流とともに社会の指標が大きく変化し、未来をより良く生きる術はIQではなく、EQにヒントありという大きな動きが、ブームともとれる感情絵本の出版物の多さに見てとれるのではないかと思います。

■ 最近で一番おすすめの感情絵本 First Feelingsシリーズ



『When I Feel Sad』 (Child's Play 2023)

思春期真只中の子どもたちの気持ちに奮闘する親として、はっと気づかされる深掘りを終え、改めて手元にある感情絵本シリーズを手に取りました。このシリーズは、イギリスChild's Play社のFirst Feelingsシリーズです。気持ちの名前を知ること。どんな気持ちなのかを知ること。その気持ちは悪いものでも何でもなく、誰もが持ちうる感情なのだということ。自分がその気持ちを持った時の周りの反応。その気持ちを持ちながら、自分はどうかと向き合えばよいのかということ・・・なんと「感情リテラシー」の要素がすべて入っていたのです！

絵本を裏返して、なるほどと納得。絵本の裏にはサセックス大学の発達心理学レスター博士監修と書かれていました。近年の研究結果を取り入れ、今を生きる

子どもたちのEQを伸ばす工夫が含まれている絵本でした。まさに現代社会に必要とされ、生み出された感情教育絵本だったのです。



※「悲しい」という自分の気持ちと周りとの関わりが描かれます。

© 2023 Child's Play (International) Ltd

■ 日本で英語の感情絵本が必要か

感情には名前があり、感情語を意識して使うことで自分の感情をうまく利用できる。First Feelingsシリーズは英語の感情絵本です。母語でしっかりと自分と相手の感情に向き合うことが大切だとしたら、このシリーズを日本で使う意味はあるのでしょうか？

私はこのシリーズをぜひ使ってもらいたい場所があります。それは、外国籍の子どもたちや多文化背景を持つ子どもたちの通う学校です。

長男は5歳で南アフリカの現地校に入りました。ABCさえあやふやで、一日の大半、先生やお友達の言っていることがわかりません。長男は周囲に何かを伝えたいとき、泣きました。一日に何度も泣いて、ことばの代わりに涙を使って、先生やお友達に感情を伝えようと

しました。

次女は2歳で長男と同じ学校に入りました。生まれて初めての学校環境で、同じく言葉はちんぷんかんぷん。ある日手形を取る授業で黒いインクを手につけられたとき、次女は決死の覚悟で教室を飛び出しました。ことばの代わりにダッシュを使い、「やりたくない」と周囲に伝えようとした。

様々な理由で言葉の通じない環境に置かれた子どもたちは、想像しがたい感情の波に吞まれています。感情リテラシーの理論で言えば、本来周囲に感情を伝えるために身につけているはずの「感情語」がないのです。普段以上の感情の波があるにもかかわらず、周囲に伝える術がない。我が子の事例は、そんな環境での彼らの決死の行動です。子どもたちの適応力は素晴らしいと称えることは簡単ですが、助ける方法もあるはず。感情絵本を手に取りれば、「感情語」を周囲と共有できない子どもたちの「ことばにならない感情」を、大人たちはきっと汲み取れるのではないのでしょうか？

南アフリカの先生たちは絵本を使わずして、子どもたちのことばにならない感情に真正面から向き合ってくださいました。長男の先生は泣くたびに視線を合わせ、簡単なことばで話しかけ、長男をクラスの輪に引き入れてくれました。長男の涙を英語に訳し、お友達に伝えてくれたのです。次女の先生は逃げ足の早い次女を捕まえると、そのまま教室に連れ戻しませんでした。同じ敷地内にある8歳の長女のクラスへ連れていき、ハグさせまし

た。次に長男のクラスへ連れていき、ハグさせました。次女の決死の「やりたくない」は先生に伝わっていたのです。その後クラスに帰り、無事手形を取って帰ってきました。今思えば、EQの高い先生方に囲まれて幸運だったなあと思います。

現代は、大人でも感情のコントロールは容易なことではありません。未来を生きる子どもたちには、自分の感情に向き合い、相手の感情を考え、人生の荒波を謳歌するような能力を持ってほしいなと思います。そのために私たち自身が今できることは、泉のように溢れる子どもたちの様々な感情を尊重していくことだと思いました。感情絵本は、奥が深かった！

【参考文献・ウェブサイト】

高山 直. AI時代にこそ求められる「心の知能指数」EQとは？ 野村証券. 2022-1-13

https://www.nomura.co.jp/el_borde/article/0021/, (参照 2024-3-1)

無藤 隆. 生活の学びを支える「非認知能力」をどう育てるか ベネッセ教育総合研究所. 2016

https://berd.benesse.jp/up_images/magazine/018-021.pdf, (参照 2024-3-1)

絵本ナビ編集部. 痲癩対策や感情コントロールにつながる絵本 より抜き5冊 絵本ナビ. 2022-8-4

https://style.ehonnavi.net/ehon/2022/08/04_591.html, (参照 2024-3-1)

Child's Play 社 First Feelings シリーズ

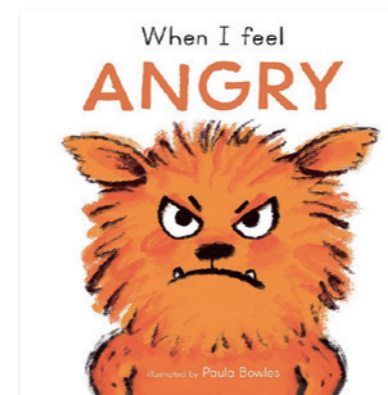


『When I Feel Surprised』 (Child's Play 2023)



※「びっくり」する気持ちはどんな時に生まれるかな？

© 2023 Child's Play (International) Ltd



『When I Feel Angry』 (Child's Play 2023)



※「腹が立つ」とき、深呼吸をしてみると・・・

© 2023 Child's Play (International) Ltd

